

AI×IoT特許セミナー

～ AI×IoTの製品への取り込みヒント ～

特許業務法人
HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK

IoT×AI支援室
弁理士 鶴田 健太郎

IoT・AI 知財戦略のことなら

” HARAKENZO *more* ”
IoT × AI 支援室

http://www.harakenzo.com/jpn/iot_ai/

目次

第1講 AI×IoT発明とその留意点

- AI×IoT特許とは
- 国内外の出願動向
- AI×IoT特許の留意点

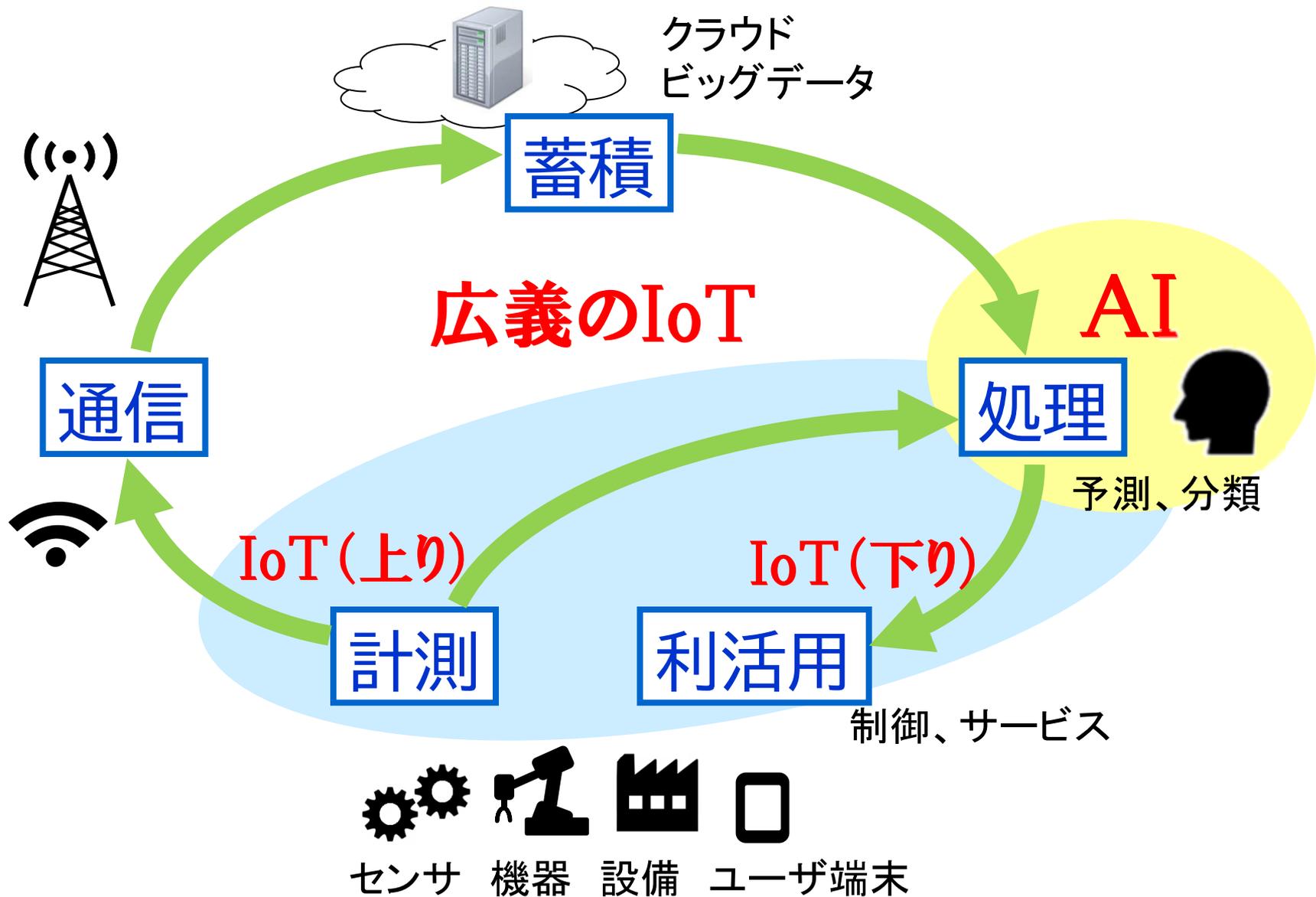
第2講 AI×IoT発明の特許性

- 御社のアイデアは特許発明になり得るか？
- 御社の発明は特許性が認められるか？
- AI×IoT関連発明の特許性判断例

第3講 事例を参考にした製品への取り込みポイント

- 従来からあるモノにセンサを取り付けた事例 (IoT)
- 複数のモノを活用した事例 (IoT)
- ブロックチェーン関連事例 (IoT)
- AIアルゴリズムの発明ではない事例 (AI)
- 学習方法、学習モデルの生成等の関連事例 (AI)

AI×IoT特許とは



AI×IoT特許とは

【後で紹介する事例】

- ✓ 施工管理システム
- ✓ 商品管理システム
- ✓ 情報処理システム（雨量／水位センサ）
- ✓ 調理機器
- ✓ デバイスプロビジョニングシステム
- ✓ 配送方法及び配送システム
- ✓ アプリの起動方法
- ✓ 教師データの入力支援用GUI（商品把持ロボット）
- ✓ オーバーヒート予知装置
- ✓ 化合物設計装置